

ドア扱い誤りによりお客様が降車できなかった事象について（山陰線）

2026年5月9日、山陰線 伯耆大山駅で、列車のドア扱い誤りによりお客様が降車できない事象が発生しました。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発生日時

2026年5月9日（土）18時42分頃

2 発生場所

山陰線 伯耆大山（ほうきだいせん）駅

3 列車名

下り特急列車 2両編成 スーパーまつかぜ9号

鳥取駅（17時44分）発 益田駅（21時38分）行
ご乗車のお客様：約30名

4 概況

上記列車の運転士は、停車駅である伯耆大山駅に停車後、お客様乗降のためドアスイッチの取扱いをすべきところ、列車行き違い待ちのための停車（お客様は乗降しない停車）と思い込み、ドア扱いをせずに発車しました。

伯耆大山駅で降車予定であった3名のお客様は、次の停車駅の米子駅にて降車いただきました。

※当該列車に乗車予定のお客様はおられませんでした。

5 発生経緯

運転士が一時的に、列車行き違い待ちのための停車（お客様は乗降しない停車）と思い込んだためです。